

<p>児童の実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に造形活動に興味・関心が高く、意欲的に楽しんで活動に取り組める児童が多い。</li> <li>・平面製作において、細かく・きれいに描くことが「良いこと」という認識をしている児童が多い。そのことが、自信が持てず取り組みに対して消極的になってしまう要因にもなっている。</li> <li>・自分なりのイメージはそれぞれもっているが、それをさらに膨らませることを面倒くさがったり、関心をもてない児童がいる。</li> <li>・自分や友達の作品や考えについて興味をもって観ることはできるが、友達と交流したり、伝え合ったりして、さらに自分の考えを深めることに消極的な児童が多い。</li> </ul>		
<p>授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p>視点1 上二小授業スタンダードの徹底</p>	<p>視点2 読み解く力の育成</p>	<p>視点3 「探究の時間」またはその他の教科との連携</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあての提示と振り返りで学習内容を確認する。</li> <li>・ペアやグループ学習、振り返りや鑑賞の授業を通して、お互いの考えを伝え合う場を設定し、自分の考えを広げたり、深めたりしていく。その際にムーブノートやオクリンクを使って協働的な学びに結び付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画やイラストを使い、製作手順や技法の習得につなげる。</li> <li>・題材の説明や鑑賞の授業で児童の考えを共有する時、言葉の使い方に気を付けて、正確に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年の「探究の時間」の日光の文化遺産と関連させて、水墨画の授業を行う。その他、各学年と相談しながら進める。</li> <li>・音楽や行事は内容を見聞きしながら、連携できそうなものはしていく。</li> </ul>
<p>その他授業改善に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年間を通して、できるだけ多様な材料や題材、技法と出合わせることで、制作活動に対する興味・関心を高め、自分の考えやイメージを広げ、感性を豊かにする。</li> <li>・児童の思いに寄り添い、イメージが広がるような声かけや、表現していることを具体的にとりあげて、肯定的に評価することで、最後まで粘り強く取り組めるようにする。</li> <li>・様々な表現方法の選択肢を用意するとともに、材料や用具の特徴を理解し、技能の向上につなげ、自分の思いに合わせて選択しながら使えるようにする。</li> <li>・タブレットパソコンで作品を鑑賞したり、写真にとって記録として残したり、さらに使えるようなアプリの研修を通して、授業で活用できるようにしていく。(ICTの活用)</li> </ul>		

